

近畿インフラ DX通信

編集・発行

国土交通省 近畿地方整備局
近畿インフラDX推進センター

〒573-0166 大阪府枚方市山田池北町11番1号
<https://www.kkr.mlit.go.jp/kingi/infradx-center/index.html>



バックナンバーはこちらから
<https://www.kkr.mlit.go.jp/kingi/infradx-center/dx/index.html#dxtushin>



表紙写真

- <左上>DX出前授業にてドローン操縦体験の様子
(紀南河川国道事務所)
- <右上>BIM/CIM施工研修
発注者・設計者・施工者合同のグループ討議の様子
- <左下>ICTアドバイザー制度を活用した施工
(和歌山県)
- <右下>BIM/CIM施工研修 講義の様子

DX紹介

ICTアドバイザー制度の活用について
和歌山県

DX紹介

インフラDXの認知度向上を目指す ～DX出前授業 開催～
紀南河川国道事務所(新宮インフラDX推進センター)

情報発信

- 関係自治体の皆さまへ
DX研修等の受け入れをホームページにて追加募集しています!
- 建設技術を紹介する動画を募集しています



ICTアドバイザー制度の活用について

和歌山県

和歌山県では、平成28年度からICT活用工事の試行を開始し、令和3年度に発注者指定型を導入以降も対象工事や対象工種を拡大し、更なる普及に取り組んでいるところです。

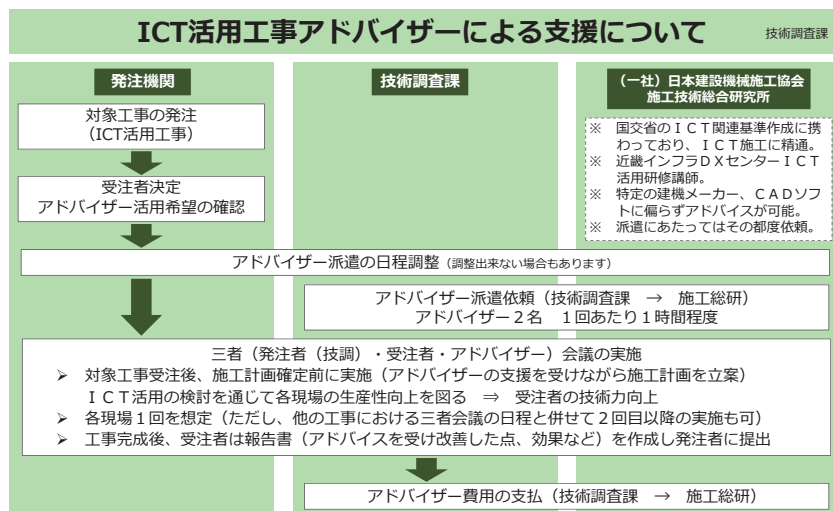
しかしながら、依然として建設会社からは「ICT って難しそう」「ICT活用工事への取り組み方が分からない」「ICT活用工事の内容は分かるが、工事にどう活かしてよいか分からない」といった意見があるとともに、発注者側のICT活用工事に関する知識も十分でなく、受発注者双方のICTに関する技術力向上が課題となっています。

そこで和歌山県では、ICT活用工事が未経験の受注者に対しICT活用工事に容易に取り組むことができるよう、県が費用を負担し、専門家によるアドバイスでICT活用を支援するICTアドバイザー制度を実施しています。

具体的には、受注者からの希望によりアドバイザーを派遣し、受発注者及びアドバイザーの3者により受注工事の内容に応じたICTに関する疑問点を議論し、アドバイザーの支援のもとICTの活用方法やICT活用工事の施工計画を立案していきます。

アドバイザーの支援を受けた受注者からは「今後の工事にも役立てることができる」と評判が良く、県としては、このICTアドバイザー制度によりICTを普段使いできる建設会社や技術者が少しでも増えていくことを期待しています。

◆ ICTアドバイザーについて



ICTアドバイザーの派遣については、国土交通省のICT関連の基準作成にも携わり、ICT活用工事に精通している(一社)日本建設機械施工協会施工技術総合研究所に依頼しています。

①ICTアドバイザー受講状況
女性技術者も積極的に受講



②ICTアドバイザー受講状況
発注者や若手技術者も技術力向上のため受講



インフラDXの認知度向上を目指す ～DX出前授業開催～

紀南河川国道事務所(新宮インフラDX推進センター)

令和5年3月、紀南河川国道事務所新宮河川国道維持出張所内において、「新宮インフラDX推進センター」を新設しました。昨年度から継続的に実施している新宮地域のインフラDX推進ならびに認知度向上に向けた取り組みについて紹介します。

◆「那智勝浦町立 宇久井小学校」DX出前授業

令和6年5月31日、新宮地域のインフラDXの推進・認知度向上に向け、那智勝浦町立 宇久井小学校にて「DX出前授業」を実施しました。

DX出前授業では、インフラDXの概要や取組事例を説明するとともに、道路改良工事の施工業者と連携し、MCバックホウやドローンの操縦体験を行いました。

今後も継続的に新宮地域におけるインフラDX広報を実施していきます。

日 時：令和6年5月31日(金)10時20分～12時10分

場 所：那智勝浦町立 宇久井小学校 運動場

参 加 者：小学6年生42名、施工業者6名、紀南河川国道事務所3名

取材機関：テレビ和歌山、和歌山放送、ZTV、紀伊民放、熊野新聞、紀南新聞

実施内容：インフラDXの概要・取組説明、MCバックホウ・ドローンの操縦体験など



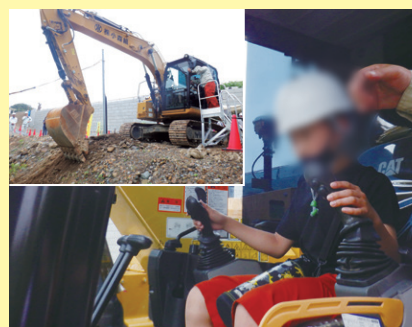
インフラDX説明



ドローンによる記念撮影



ドローン操縦体験



MCバックホウ操縦体験

【参加者の感想・意見】

- 建設業のお仕事は、すごくカッコいいと思った。
- DXのことを初めて知ったが、インフラDXのことが理解できたし興味が沸いた。
- ドローン、MCバックホウの操縦体験がすごく楽しかった。
- ドローン技術を活用した災害対応の動画がすごかった。

情報発信

関係自治体の皆さまへ

DX研修等の受け入れをホームページにて追加募集しています!

近畿地方整備局では、関係自治体、関係機関の職員の技術力向上支援として実施しているICT活用研修やBIM/CIM研修等をはじめとした管内研修・講習会において、研修生の受け入れを追加募集しています。近畿地方整備局ホームページ内「自治体等人材育成支援」よりお申込みが可能となっておりますのでぜひご活用下さい。

近畿地方整備局では人材の育成をサポートします

講習会で支援

橋梁基礎知識について技術力の向上を目指す講習会や、橋梁及びトンネル点検における支援技術の講習を実施しています。

研修で支援

ICT活用工事に向けた知識・技術を学ぶ研修や、座学及び現場研修を通して専門知識を学ぶ研修、土質、コンクリート、アスファルトなど各種試験講習会を実施しています。

出前講座で支援

近畿地方整備局では、多彩なテーマの出前講座を実施しています。

近畿地方整備局ホームページ内「自治体等人材育成支援」
https://www.kkr.mlit.go.jp/plan/kannaikensyu/jinzai_ikusei.html



建設技術を紹介する動画を募集しています

新技術の普及・活用促進を図り、i-Constructionを深化させることを目的として、建設技術を紹介する動画を募集しています。募集対象は、新技術情報提供システム(NETIS)に登録されている新技術と、官民研究開発投資拡大プログラム(PRISM)に選定された技術とし、提供いただいた動画は、近畿インフラDX推進センターの利用者が閲覧できるように放映し、公式YouTubeでも公開しています。

国土交通省 近畿技術事務所・近畿インフラDX推進センター 公式YouTube
<https://www.youtube.com/channel/UCNbaSwP4UhT9QCwujCqIt8A>

近畿インフラDX YouTube 検索

動画登録の対象とする技術

- ・新技術情報提供システム(NETIS)に登録されている新技術
- ・官民研究開発投資拡大プログラム(PRISM)に選定された技術

申請書等

下記ホームページから、随時応募を受付しております。
動画登録の登録申請書、動画登録に関する実施規約、
共同開発者の同意書をダウンロードできます。
<https://www.kkr.mlit.go.jp/kingi/tech/netis/movie.html>

動画応募受付窓口

近畿地方整備局 近畿技術事務所
技術活用・人材育成課技術開発相談室
TEL : 072-856-1941(代表) 072-860-7202(ダイヤルイン)
E-mail : kkr-new-tec@mlit.go.jp



近畿インフラDX推進センターでは、随時施設見学を受け付けております。ご興味のあるかたはぜひ、下記HPよりお申し込みください。
<https://www.kkr.mlit.go.jp/kingi/infradx-center/application/index.html>

見学に際しての 注意事項

- ・施設見学は予約制です。見学ご希望日の1週間前までにお申し込みください。
(ただし、土日祝日、年末年始は休館日となります。)
- ①10:00~11:30 ②13:15~14:45 ③15:15~16:45
- ・業務の都合ならびに他の見学申込み状況により、見学日時のご希望にそえない場合があります。
その他、詳しくはHP記載の注意事項をご確認ください。

